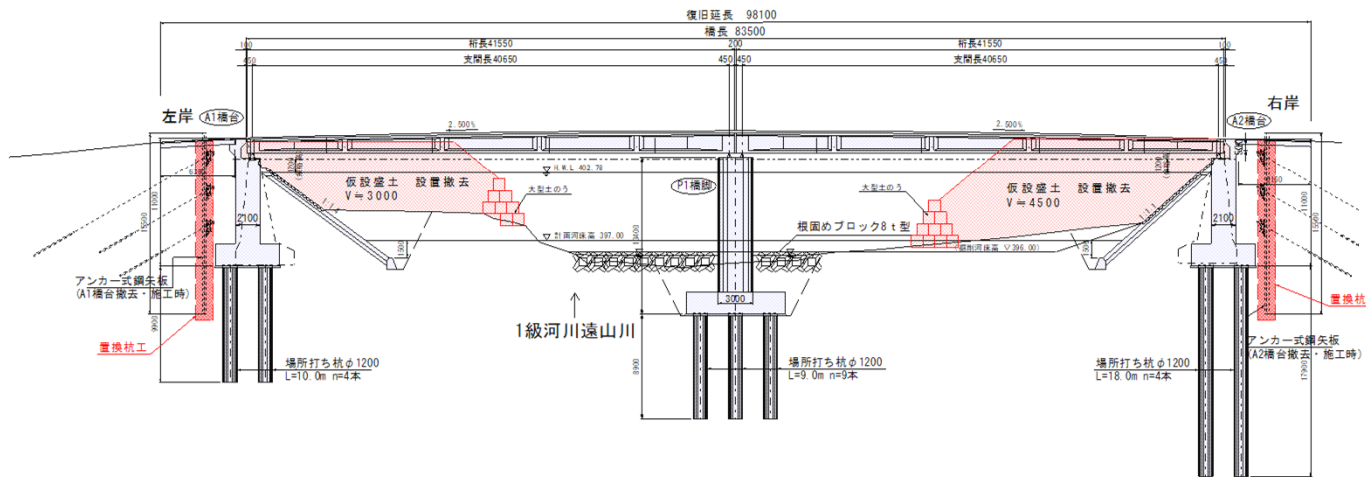
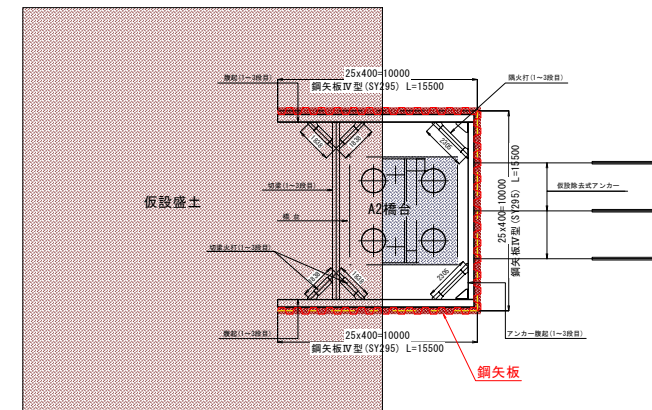


中橋側面図
市道1-南信濃5号線
(上流から下流を望む)



仮設平面図



仮設工法 工程表

工程	令和3年度			令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度																
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①当初工法 通年施工	[Gantt chart showing construction phases: P1橋脚, 仮設設置右岸, A2橋台, 仮設撤去左岸, A1橋台, 仮設撤去, 上部工]																															
②当初工法 濁水期のみ施工	[Gantt chart showing construction phases with work stoppages during high water periods. Includes '河川管理者との協議' and '国との重要変更設計協議' annotations.]																															
③採用工法 変更後 濁水期のみ施工	[Gantt chart showing the revised construction phases for high water periods only.]																															

鋼矢板打設工法検討表

【河川管理者との協議により濁水期間のみの施工となったことによる工法検討】

工法名	日施工量 (橋台1基当り)	鋼矢板打設引抜き使用機械	下部工施工時仮設工 (仮設盛土及び大型土のう)	工事費 (直接工事費)	復旧工事期間 (付帯工込み)
鋼矢板打設工 (当初工法)	鋼工量 1枚/日×75枚=75日 橋台1基につき75日	鋼矢板打込工 油圧式杭圧入引抜き機 加-ワレン 50 t 吊 鋼矢板引抜き工 油圧式杭圧入引抜き機 加-ワレン 25 t 吊	橋台2基施工期間 1年間 (通年施工)	鋼矢板打込引抜 41,730,300円 仮設工 4,233,750円 合計工事費 46,964,050円	3年間
鋼矢板打設工 (濁水期のみ)	鋼工量 1枚/日×(75枚+26枚)=101日 橋台1基につき101日 ※26枚は濁水期では完成せず、出水期に撤去・再設置が必要	鋼矢板打込工 油圧式杭圧入引抜き機 加-ワレン 50 t 吊 鋼矢板引抜き工 油圧式杭圧入引抜き機 加-ワレン 25 t 吊	橋台2基施工期間 4年間 (濁水期間のみ施工) A1-A2同時施工不可	鋼矢板打込引抜 57,459,308円 仮設工 45,567,678円 合計工事費 103,026,984円	6.5年間
置換杭工 (濁水期のみ)	鋼工量 ケージング 1本/日×22本=22日 鋼矢板 75枚×6枚/日=12.5日 橋台1基につき35日	置換杭工 全回転型H-ケーシング φ1500級 加-ワレン 100 t 吊 鋼矢板打込工 HタイプH型 加-ワレン 100 t 吊 鋼矢板引抜き工 HタイプH型 加-ワレン 25 t 吊	橋台2基施工期間 1年間 (濁水期間のみ施工) A1-A2同時施工可能	鋼矢板打込引抜 76,288,944円 仮設工 21,665,685円 合計工事費 97,954,629円	3年間

変更内容

河川管理者との協議において、濁水期間のみの施工となった。当初計画していた仮設工法では、河川内に設置した仮設構造物を出水期にいったん撤去し、濁水期に再度設置する必要があるため、復旧工事が長期間となることから、早期完成させるため、橋台の施工にあたり仮設工法の見直しを行った。(橋台1基あたり75日→35日に短縮)(上記 仮設工法工程表より)

その結果、以下のとおり変更となる。

- ①仮設の鋼矢板打込の工法を、置換杭工へ変更したことによる増額。(大型掘削機の導入等) ※(橋台における鋼矢板打込工法検討表より)
- ②下部工(橋台2基、橋脚1基)施工時のポンプ排水の増工。(想定以上の湧水による水中ポンプの増設 1台⇒9台)
- ③仮設工の機械及び仮設資材の運搬費が増額。
- ④仮設工の大型土のうが増えたことにより、設置撤去費の増額